


# 南朝と西吉野の歴史年表

できごと	西暦	年号 (北朝年号)	西吉野のできごと
大塔宮護良親王(後醍醐天皇皇子)誕生	1308	延慶元年	
文保の和談(持明院統と大覚寺統の両統迭立を定める)	1317	文保元年	
後醍醐天皇(大覚寺統)即位、護良親王出家(尊雲)	1318	〃 2年	
正中の変(後醍醐天皇の第1次討幕計画)	1324	正中元年	
護良親王、天台座主となる	1327	嘉暦2年	
元弘の変(後醍醐天皇の第2次討幕計画) 楠木正成挙兵。後醍醐天皇、笠置寺へ逃れる 護良親王、比叡山を脱し大塔村へ。光厳天皇(持明院統)即位	1331	元弘元年	黒淵に残る大塔宮護良親王の伝承  後醍醐天皇
後醍醐天皇、隠岐に配流。護良親王、吉野山に入る	1332	〃 2年	
1月 幕府軍、大挙して吉野河畔に殺到。護良親王高野山へ 閏2月 後醍醐天皇、隠岐脱出 5月 足利高(尊)氏、六波羅探題を、新田義貞、鎌倉を攻略(鎌倉幕府滅亡) 6月 後醍醐天皇、帰京	1333	〃 3年	(伝)乗専法師、松川郷へ(浄土真宗)
1月 建武政権成立 10月 護良親王、武者所に拘引され、11月鎌倉に送られる	1334	建武元年	
7月23日 中先代の乱(北条時行の乱)。護良親王殺害 10月 足利尊氏、後醍醐天皇に叛く	1335	〃 2年	金峯山坊領證文紛失状に、「古田郷水田二反」及び、「大和國宇智郡西穴生庄」とあり
1月 足利尊氏入京。敗れて九州へ敗走 5月 足利尊氏再び東上。湊川の戦いで楠木正成戦死 8月 足利尊氏、光明天皇を擁立(北朝) 10月 足利尊氏、後醍醐天皇を花山院に幽閉 11月 足利尊氏、幕府を開き、『建武式目』を制定 12月 後醍醐天皇京都脱出。23日穴生(賀名生)着、同28日吉野山へ入る	1336	延元元年	(伝)円光寺乗専上人像
「南北朝時代のはじまり」			後醍醐天皇、穴生に入り、堀家着
	1337	〃 2年	吉野旧事記に「吉野八旗八莊司、公文二十四家等」とあり
和泉石津の戦いで北畠顕家が、藤島の戦いで新田義貞が戦死 奥州下向船遭難、南朝衰退 8月 足利尊氏、征夷大將軍に就任	1338	〃 3年 (暦応元年)	
8月16日 後醍醐天皇崩御(52才) 10月 足利尊氏、天皇冥福のため天竜寺建立発願 義良親王(後村上天皇)即位 北畠親房『神皇正統記』を著す	1339	〃 4年 (暦応2年)	
1月 四条畷の戦い(楠木正行戦死)。高師直、吉野攻略 後村上天皇、吉野山をのがれ、紀州阿瀬川城に入る 9月 阿瀬川城が落ち、後村上天皇、穴生(賀名生)に入る 10月 北朝の崇光天皇、踐祚	1342	興國3年 (康永元年)	(伝)楠木正儀寄進。康永元年(銘)河内高福寺梵鐘あり
観応の擾乱(足利家の内紛)始まる	1348	正平3年 (貞和4年)	吉野山蔵王堂をはじめ諸堂が焼討ちされ灰燼に帰す 9月初旬、後村上天皇、穴生着。華蔵院御所の建立
足利尊氏と弟直義の争いが続く 足利尊氏、南朝に帰順し、年号が正平に統一される(正平の一統)	1350	〃 5年 (観応元年)	8月 禰野定観、没
	1351	〃 6年 (観応2年)	後村上天皇、穴生より北朝の崇光天皇の廃位を宣する 12月23日 北朝の「三種の神器」を取戻す この年の暮から、翌年の正月にかけて京都の公卿ら、穴生に参候して叙任される者多く、名実ともに帝都となる
 後村上天皇			

できごと	西暦	年号 (北朝年号)	西吉野のできごと
足利尊氏が直義を追って鎌倉に進撃 2月26日、直義を毒殺する	1352	正平7年 (文和元年)	2月5日 後村上天皇、足利義詮に帰京を通告 後村上天皇から「穴生を賀名生」に改めるよう勅書あり(伝) 2月26日 後村上天皇、賀名生出発 閏2月20日頃、京都に入る(17年目の京都奪回) 閏2月 足利義詮、再び坂上京都に入り、観応の年号を告げる 3月~5月 男山の戦い、5月11日 八幡の本陣陥落 後村上天皇、戦いをのがれ再び賀名生へ還幸 6月 北朝三上皇ら賀名生に幽閉 8月 光厳院、賀名生で落隠(僧になる)法名勝光智 細川頼春、京都東寺で討死(奥谷地藏寺過去帳に記載あり) 賀名生にて千首の和歌会催される
8月 北朝の後光厳天皇が踐祚			中院具忠によるとされる事件が起こり、土民蜂起して皇居に押寄せ
6月 南朝方の楠木正儀ら、將軍足利義詮を破り京都を回復 7月 足利義詮、京都に入る 9月 足利尊氏が後光厳天皇を奉じて京都に入る	1353	〃 8年 (文和2年)	3月 賀名生に在した北朝の三上皇ら、河内天野山金剛寺に移る 4月 北畠親房、没(62才) 10月 後村上天皇、賀名生より河内天野山金剛寺に移る
12月 足利直冬(尊氏の子、直義の養子)が尊氏と戦い、尊氏、後光厳天皇を奉じて近江に走る	1354	〃 9年 (文和3年)	常覚寺、大塔宮護良親王廿三回忌五輪塔建立 乗専上人、平雄で没
	1357	〃 12年 (延文2年)	島山国清軍、南朝討伐のため出陣
4月 足利尊氏、没(54才)	1358	〃 13年 (延文3年)	
	1359	〃 14年 (延文4年)	4月25日 白銀岳にて護良親王遺子(赤松宮)が乱を起こし、賀名生皇居を焼打ちして、南朝の追討軍と戦う(銀嵩の戦い)
9月 後村上天皇、摂津住吉へ	1360	〃 15年 (延文5年)	黒淵馬路の基地に、この年の年号を刻む五輪塔あり
	1361	〃 16年 (康安元年)	光厳法皇、賀名生に入り後村上天皇と対面したという
	1362	〃 17年 (貞治元年)	
光厳院、崩御(52才)	1364	〃 19年 (貞治3年)	
12月 足利義詮、没(38才)	1367	〃 22年 (貞治6年)	
3月 後村上天皇、住吉の行宮にて崩御(41才) 長慶天皇、即位 12月 足利義満、將軍職を継ぐ	1368	〃 23年 (応安元年)	楠木正儀が足利義満に服従し、正月、長慶天皇賀名生へ移御。しばらくして天野山金剛寺行宮へ還幸
	1369	〃 24年 (応安2年)	
北朝の後円融天皇即位	1371	建徳2年 (応安4年)	
3月 細川氏春、天野行宮を侵す 8月 楠木正儀、天野行宮を侵す。 長慶天皇吉野へ移御	1373	文中2年 (応安6年)	8月 天皇賀名生へ還幸する。 (伝)北畠親房公五輪塔建立。
	1374	〃 3年 (応安7年)	宗良親王(後醍醐天皇皇子)信州より吉野行宮へ帰る
	1375	天授元年 (永和元年)	賀名生行宮にて五百番歌会催される
	1377	〃 3年 (永和3年)	千首の和歌会催される
これより三年間、長慶天皇、榮山寺の行宮に在す	1379	〃 5年 (康暦元年)	
光明院、崩御	1380	〃 6年 (康暦2年)	
北朝の後円融天皇、後小松天皇に譲位	1382	弘和2年 (永徳2年)	
後龜山天皇、即位	1383	〃 3年 (永徳3年)	
南北朝合一(南北が統一され南北朝時代が終結) 南朝、足利義満提案の三条件を受入れる。 10月28日、後龜山天皇吉野の皇居を発ち、29日興福寺へ。閏10月2日 後龜山天皇、京都還幸。同5日後小松院に対し、神器の授受による譲位の儀が行われる	1392	元中9年 (明德3年)	
 後龜山天皇			